



# ゆうすい

嘉島西小学校 学校便り

令和4年6月21日  
文責：校長 江上 知男

自然の中のハイキング



## 5年生「集団宿泊教室」を実施！

5年生は、6月14日～15日に天草青年の家で集団宿泊教室を行いました。コロナの影響を受けた欠席を心配していましたが、幸いなことに全員参加することができました。また、天候を気にしていましたが、残念ながら「ペーロン体験」はできなかったものの、その他の活動は概ね予定どおりできたそうです。

さて、宿泊教室の出発にあたり、留守番の校長は、子どもたちには2つのこと(目的)を話しました。

- ①学校ではできないことを経験するために行くことから、体験活動をしっかり楽しんで欲しい。
- ②集団行動について、相手の立場に立って気付いたこと、考えたことを行動に表して欲しい。

宿泊教室は、子どもたちにとってどうしても必要な行事です。それは「体験なくして成長なし！」と考えるからです。子どもたちは、2日間に渡って「楽しむこと」と「けじめをつけること」のメリハリをつけ、同行した教頭先生は「5年生の行動は素晴らしかった！」と評価していました。今回の実施にあたり、ご理解とご協力をいただいた保護者の皆さま、本当にありがとうございました。

## 「朝の読み聞かせ」復活です！

コロナ禍によって「できなくなったこと」はたくさんありますが、その一つが「地域の方々による読み聞かせ」です。ただ、学校は「対策をしっかりすれば感染リスクを押さえられる」ことも学んできたことから、しっかりした感染対策を行ったうえで、週に1回「朝の読み聞かせ」を復活させることにしました。担当していただくのは、もちろん「ひだまりの会」の皆さんです。現在17人の方が在籍しておられるそうで、初回となった6月14日は8人の方が駆けつけてくださいました。これから毎週都合を付けて学校に来てくださいます。代表の内野さんからは、「参加者を募集しています。お気軽にご参加を！」というコメントをいただいています。



読み聞かせの様子

「文章を理解する」力や習慣を付ければ更に伸びる本校の子どもたちにとって、「読書の時間」や「読み聞かせ」は重要です。子どもたちが大好きな読み聞かせの時間が、コミュニケーション力を高めるきっかけとなり、将来の豊かに生きる力につながって欲しいと考えています。

ひだまりの会の皆さん、本当に心待ちにしていました!! どうぞよろしくお願いいたします。

「読み聞かせ」「体験活動」「子どもの安全見守り」等々、学校は地域の方々と連携しながら教育活動を進めているところですが、学校と地域が連携するためには、町のことをよく知り、人と人をつないでくださる「橋渡し役」がどうしても必要です。この役割を担ってくださるのが、嘉島町教育委員会に所属している田中明子さん(東小校区在住)です。職員室にいられたり電話連絡したりして「学校が地域の方々に協力いただきたいこと」をリサーチされています。そして、すぐに地域の方に声をかけ、「マッチング」をしてくださいます。1学期だけでもたくさんの方に来ていただく予定です。



職員と打ち合わせ中！

今後、多くの地域の方々に学校に来ていただき、子どもたちと活動していただければ有り難いです。そして、文字通り「地域とともにある嘉島西小学校」になればいいなあと考えています。